

平成24年度第3回鹿児島市地域情報化推進委員会概要

1 開催日時

平成24年11月7日（水） 9:30～11:15

2 開催場所

鹿児島市役所東別館9階特別中会議室

3 出席者

(1) 委員9人

(2) 事務局7人（総務局長、総務部長、情報システム課長、情報システム課3人）

4 会次第

(1) 第三次鹿児島市地域情報化計画の素案について

5 議事の概要

別紙のとおり

発言者	議 事 内 容
事務局	(1) 事務局から資料の説明 事務局から第三次鹿児島市地域情報化計画素案、概要版の説明
委員長	第二次計画では行政の情報化が6割を占めていたが、第三次計画では4割程度なっている。反面、「すこやか安心」や「学び文化」が倍増している。行政の情報化が進み地域情報化の主体としては、現在問題になっている安心・安全や教育について注力した内容となっています。
	(2) 質疑応答
委員	● 市民意識調査の分析の中で「個人情報の保護に不安がある」、「個人情報が漏えいしプライバシーが侵害される」の割合が多いことを問題と捉えているように感じるが、そのように回答した市民の方が危機意識は高く、逆に何も感じていない方が問題なのではないか。表現としてすんなり受け入れられなかった。
委員	● 電子カルテの導入では、費用、導入時の現場の負担もあると思う。また、地域医療連携に関しては、地域医療連携のシステム化を含めての目標なのか。更に費用がかかるが市民も期待すると思う。連携する医療機関なども含めて検討するのか。
事務局	⇒ 電子カルテの導入と合わせて医療画像管理システムと連携して、地域医療との連携を充実させます。どの医療機関との連携するかについてもこの中で検討しています。
委員	● 医療画像管理システムは1つの医療機関の中で構築されている。他の医療機関からDVD等で持ち込んだ画像をシステムに取りこんで市立病院で利用する方式なのか。もしくは共通のサーバにデータを保管して医療機関で共有するのか。後者は現状、鹿児島県、鹿児島市にはない。
事務局	⇒ 市立病院に詳しく確認します。
委員	● 具体策34「ICT-BCPの策定」とあるが、災害という観点から見ると電子カルテなど医療機関のデータのバックアップが問題になる。災害などでデータがなくなると市民サービス、医療サービスが提供できないということになる。BCPの策定はどこまでの範囲を指しているのか。
事務局	⇒ 「ICT-BCPの策定」では各システムの重要なデータのバックアップ体制の強化としています。
委員	● 「効率性の高い交通機関が求められる」と記載があるが、「効率性の高い交通網の再構築」ではないか。「交通機関」というと新幹線や飛行機など個別の交通手段になると思う。ここでは観光地までどのように行くかなど交通網が主題ではないか。
事務局	⇒ 担当課と調整の上、検討します。
委員長	● 「ICT-BCP」は「業務継続計画」としていただいたほうがわかりやすいのではないかと思う。また、市民意識調査の捕らえ方ですが、概要版では難しいかもしれないが、不安に感じていない人の方が問題だということを本編には入れることを検討して欲しい。
委員	● 鹿児島市が環境未来都市宣言して、先進的活動していると感じている。ただ、鹿児島市からの情報発信としては弱いと感じている。また、観光や産業についても重要と思うが、もう少しいろいろな意見があってもいいのではないか。
委員	● 計画には記載できないかもしれないが、効果や対象者、目標値を設定して評価してはどうか。市民が見たときに責任の所在がわかりやすい。
委員	● 第二次計画では地域間の情報格差の重点課題として取り上げられたが、第三次計画では外れている。鹿児島市の地域間の情報格差は解消したという意味なのか。重点として取り上げなくても継続的に取り組んでいるのであれば、それを表現する必要があるのではないか。
委員	● 鹿児島市は桜島など他にはない地理的特徴がある。防災に関する情報政策に力を入れているという表現を入れて、他の重点取組とメリハリを付けてもいいのではないか。
委員会	● 地域間格差はかなり議論したが、解消されてきていることも事実ではあると思う。また、環境に関するものが少ないが、情報は基盤であるため市民生活に特化して

事務局	<p>進めて行くというのも1つの方法だと思う。計画に記載できればわかりやすいのではないか。</p> <p>⇒ 地域間格差については、継続的に具体策16「通信環境の整備」として掲げています。第二次計画ではブロードバンド整備に力を入れ、成果を上げています。携帯電話の不感地域などがあるため、情報収集しながら通信事業者への依頼は続けます。具体策についての目標値などの設定ですが、素案では担当部局を記載し、設定できるものは指標を記載しています。指標を活用して具体策の進捗管理を行っていきたいと思っています。防災関係について、よりメリハリを付けた表現が必要ではないかとのことですが、現状では重点取組として取り上げているが、本日のご意見を踏まえて確認します。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 49の具体策のうち、23に指標がない。指標を出すように担当課に強く言って欲しい。今後計画を推進するにあたり、具体策を継続するのか、中止するのかの判断材料になる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体策として「地域コミュニティ連携組織ポータルサイト開設・運営事業」があるが、町内会の運営は負担が大きく大変ということ良く聞く。ポータルサイトが活用される方法などを含めて検討するのか。
事務局	<p>⇒ 地域内のコミュニティの活動内容を紹介するサイトや町内会向けのHP作成ツールの提供ということです。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内会の人々がHPを作成するのか。
事務局	<p>⇒ 町内会ごとにHPを作成できるツールや、メールを送信する機能を提供する予定です。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内会に参加しているが、400世帯中240世帯程度が高齢者の世帯になっている。高齢者の方にICTを活用してもらえるように「すこやか安心」など高齢者向けの施策と連携してほしい。
事務局	<p>⇒ 担当課と調整の上、検討します。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 担当部局が市民局のため町内会となっているが、PTAなど他の組織でも使えるようにした方が良くはないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域コミュニティ推進協議会が推進している地域のプラットフォーム作りなどは連携して行くのか。
事務局	<p>⇒ 町内会、PTAなどの組織全体でポータルサイトを作り直そうとしており、現在、鹿児島市内の3ヶ所でモデル事業の実施を予定しています。ポータルサイトを構築する以上は、各組織が連携して情報提供、情報交換できないと意味が無いと思いますが、段階的に取り組んで行くことになると思います。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係部局と調整の上、取り組んでいきたい。また、担当課に意見があったことは伝えて欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 私は継続的に町内会へ参加しているが、参加者が少ない。その状況でポータルサイトを作っても、利活用は難しいのではないかと思うが、モデル事業の成果を見たい。指標としてホームページへのアクセス数が設定されているので、数年間様子を見ることになると思う。ポータルサイトを作ったからといって町内会の加入率は上がらないと思う。市からの情報発信もあってもいいのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 素案の中で「かごしまITフェスタ」以外は「IT」ではなく「ICT」に統一されている。時代の流れとともに「ICT」に変える必要があるのではないか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ICT」の方が良くはないか。
事務局	<p>⇒ 日本では「IT」、海外は「ICT」が普及している。国も当初は「IT」を利用していたが、現在では「ICT」を普及させようとしている。本市でも「ITフェスタ」以外は「ICT」という言葉を使っているが、現状ではICTよりもITの方が身近なためそのままとしたい。</p>
事務局	<p>⇒ 近年の「ITフェスタ」は出典企業が減少した反面、多くの市民の方が訪れており、主体が市民に移っている。これまではビジネス主体だったが、来年から模様替えをしたいと考えており、名称なども含めて検討していきたい。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体策の概要にもその旨も記載してください。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● ITフェスタの運営に係わっているが、イベントの方向性がビジネス向けから市民向けに変わっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● ICTの利活用という観点では、底上げをする施策が必要ではないか。インターネットの活用に不安があるのであれば、情報セキュリティセミナーなどを開催す

	ればよいが、各局の縦割りで実施するのではなく、市として統一した取り組みが必要ではないか。学校向け、一般市民向け、PTA向けなど個別に実施しているため、統一性がないように見える。
事務局	⇒ ITフェスタでは講座などを実施していますので、ITフェスタを中心に対応していこうと思います。
委員	● 行政の事業を考える上で財政の制約を考える必要がある。重要な事業を推進するのが重要で、49に事業の中で効果の程度はそれぞれ異なると思う。行政の内部も良いが、事業の重要度などについて庁内では検討してください。
事務局	⇒ 計画に記載した具体策について、実現が可能なものに関しては予算が確保できるように進めてまいります。
事務局	⇒ 予算の面から計画に記載されている事業が実施できなかったことはありません。事業の計画の見込みを見て、確実性の高いものは予算を付けています。
委員	● 高齢化進んで、地区によっては子どもが減ってきている。子どもが少ないところは敬老会中心の町内会になってきている。「ICTを活用した高齢化対策の推進」では今後、独居老人の安心安全につながる具体策が必要なのではないか。一人で住んでいる方が安心して住める、住んでいる方の状況が分かるようなシステムが必要ではないか。
事務局	⇒ 高齢者への対策としてICT以外のアプローチは行政として取り組んでいます。現状ではICTをどう活用して高齢化対策に生かすか見えてきていませんが、ICT以外の取り組みは推進しています。
委員	● 高齢者の定義が難しい。団塊の世代はICTの活用できる世代だと思う。高齢者だから情報弱者ではなく、他の切り口が必要ではないか。
委員	● 具体策22「観光ホームページ」の概要に「補助金を交付する」あるが、そこまで具体的に記載しない方がいいのではないか。
委員	● 観光サポーター（具体策21「メールマガジンによる観光情報発信の充実」）に登録しているが、実際に配信されるメールは少ない。忘れたことに来るようなメルマガでは意味が無いので、目標値を設定して継続して取り組んで欲しい。
委員長	● 具体策21「メールマガジンによる観光情報発信の充実」は発信数も指標にしましょう。また、具体策24「海外旅行エージェントに対する「さきどり情報」の発信」では年2回の情報発信となっている。少なすぎるのではないか。第二次計画では高齢者のITリテラシー向上を重点としていた。本計画でも情報格差を解消するという旨を施策の説明として入れて欲しい。
委員	● 鹿児島市では観光のホームページとしてコンベンション協会、鹿児島市の2つのホームページがあり、どちらを見たほうが良いのか分からない。同じような情報が多いので、誤った情報を記載しないように気をつけて欲しい。具体策24「海外旅行エージェントに対する「さきどり情報」の発信」の年2回は少ないのではないか。高知県ではこまめに情報提供してくれる。せめて2ヶ月か四半期に1回は必要だと思う。
委員	● 具体策25「外国人観光客受入体制整備事業」のWi-Fi環境の整備対象としてマリポートも含めて欲しい。船で来る外国人も多くパソコンを使ってメールのやり取りや情報を得たいというニーズが高い。パソコンを2台持ち込んで自由に使えるようにしているが、並んで利用している。
事務局	⇒ 関係部局と調整の上、取り組んでいきたい。
委員長	● 担当課に意見があったことは伝えて欲しい。
委員	● HPのリニューアルでは外部の意見も参考にしようと思うが、どの範囲の意見を参考とするのか。
委員	● 「安心ネットワーク119」に登録しようとしたが、登録できなかった。
委員	● パブリックコメントに提出された意見には、細かく対応して欲しい。
委員	● 町内会に関しては、私自身は会費を払っているだけであまり興味を持っていない。町内会でHPを作っても、閲覧板が見られるならアクセスするかもしれないが、見るかどうか分からない。
委員	● 同年代でパソコンを使えない人も多くいる。情報格差を考える上で、どういう人が使いたい人かを判断することが重要だと思う。
事務局	⇒ HPのリニューアルについては、専門の人にアドバイスを受けながら進めます。市民の意見としては、平成23年度に実施した市民意識調査など踏まえてリニ

事務局 事務局	<p>ーアルします。</p> <p>⇒ 「安心ネットワーク119」に関しては別途確認させてください。</p> <p>⇒ パブリックコメントは電子申請の仕組みを活用しながら、意見があったものに対して市の考えを伝えてまいります。パブリックコメントで頂いた意見は、個別に回答はしていませんが、HPで公開しています。</p>
事務局 事務局	<p>⇒ 町内会に関する意見は、担当課へ伝えて、参考させていただきます。</p> <p>⇒ 情報格差に関して、主婦や高齢者などへの対応については、ITフェスタやパソコン講座と連携しながら進めます。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 福岡市では地下街や地下鉄などに無料で使えるWi-Fi環境が増えてきている。マリポートもWi-Fi環境を整備すれば、利用する人は多いのではないかと。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● HPのリニューアルでは市民の声が反映できる体制なども含めて検討してください。また、回覧板とHPの問題に関しては、HPと紙媒体との住み分けを含めて検討してください。情報格差の定義については検討する必要がある。どういう格差として考えているかを記載してほしい。
委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 鹿児島市のWi-Fi環境の状況はどうなっているか。 <p>⇒ 鹿児島市内のWi-Fiスポットは1000箇所以上あります。飲食店や携帯キャリアが設置しています。</p>
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設ではソフトプラザなどでも使えれば良いと思うが、現状では使えない。 <p>⇒ 公共施設では、IT体験コーナーでインターネットのできるパソコンを提供しています。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設のWi-Fi環境を増やして、ICTの利活用を推進できれば良いと思う。
委員長 事務局 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設全てにWi-Fi環境を設置することを具体策に入れられないか。 <p>⇒ まずは観光地を対象として、外国人観光客への具体策の一環として取り組みたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設にWi-Fi環境を整備することへの要望があったことを伝えてください。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● Wi-Fi環境があれば、災害時に情報発信や情報収集が可能で、災害対策の一つにもなる。
	<p>閉 会</p> <p>(1) 委員長挨拶</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 本日は第三次計画の素案について、委員の皆さんからいろいろご意見等を頂きましたが、時間的な制約もあり言い足りなかった点などもあると思います。他にご意見等ございましたら、事務局の方にメール等でご連絡いただければと思います。 ● 次回の委員会は1月が予定されておりますが、今回は、パブリックコメント実施後の企画最終案の検討ということになります。 ● 本日頂いた意見等は、素案修正の際はもちろん、今回は計画に載せられなくても、今後新たな施策を実施する際に、ぜひ、材料としていただきたいと思います。
事務局	<p>(2) 事務局からの連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本日頂いたご意見やご提言等は庁内の幹事会や本部会議などで検討いたしまして、パブリックコメントを12月末頃から実施したいと思います。
	以上